

実習科目4-1

小動物内科学実習モデル・コア・カリキュラム

全体目標

動物に対する内科的治療を実施する上で必要な診断法および治療法に関する基本的手技を身につける。

(1) 総論

一般目標：

動物の個体識別、診療記録、診断法の概要、インフォームド・コンセント、小動物の取扱いと保定法、身体検査、薬剤投与方法の基本を身につける。

到達目標：

- 1) 動物の容貌を確認し、個体識別をする。
- 2) 基本的な診療記録を書ける。
- 3) 臨床診断法の概要を理解し、実施できる。
- 4) インフォームド・コンセントの方法と重要性を理解する。
- 5) 犬などの小動物の取扱いを学び、確実な保定ができる。
- 6) 基本的な身体検査ができる。
- 7) 動物に各種の投薬ができる。

(2) 血液

一般目標：

血液の採取法および検査試料作製法を修得し、血液一般検査、血液化学検査および止血機能検査の原理を理解し、その結果を評価できる。

到達目標：

- 1) 採血ができる。
- 2) 血球数、ヘマトクリット値、赤血球指数を測定し、その結果を評価できる。
- 3) 血液塗抹標本の作製と観察を実施し、その結果を評価できる。
- 4) 血液化学検査を実施し、その結果を評価できる。

- 5) 止血機能検査を実施し、その結果を評価できる。

(3) 骨髄

一般目標：

骨髄の採取法および標本作製法を実施し、骨髄検査の結果を評価できる。

到達目標：

- 1) 骨髄試料の採取法を理解できる。
- 2) 骨髄吸引液の塗抹標本の作製、観察、評価ができる。

(4) 循環器・呼吸器

一般目標：

循環器疾患および呼吸器疾患動物に対する身体検査および基本的診断法を実施できる。

到達目標：

- 1) 心疾患および呼吸器疾患動物の基本的身体検査ができる。
- 2) 心音、心雑音、呼吸音を聴診できる。
- 3) 動物の標準肢誘導心電図を記録できる。
- 4) 胸部 X 線写真の基本読影を実施できる。
- 5) 心エコー検査の基本的断面を理解する。

(5) 輸血・輸液

一般目標：

輸血に必要な検査法および輸血法と輸液法について修得する。

到達目標：

- 1) 血液型検査および交差適合試験の結果を評価できる。
- 2) 血液ガス分析の結果を評価し、適切な輸液剤の選択ができる。
- 3) 輸血と輸液を実施できる。

(6) 消化器

一般目標：

消化器疾患動物に対する基本的診断法を実施できる。

到達目標：

- 1) 腹部触診と聴診ができる。
- 2) 適切に採便し、糞便の観察と糞便検査を実施できる。
- 3) 腹部超音波検査で腹部臓器の描出ができる。
- 4) 睪外分泌機能検査の方法と評価を理解する。
- 5) 腹部 X 線写真の基本読影を実施できる。

(7) 泌尿器

一般目標：

泌尿器疾患動物に対する基本的診断法を実施できる。

到達目標：

- 1) 適切に採尿ができる。
- 2) 尿検査を実施できる。
- 3) 腎機能の評価法を理解する。
- 4) 泌尿器 X 線写真の基本読影を実施できる。

(8) 内分泌疾患

一般目標：

内分泌疾患診断のための検査法の原理と方法を理解して実施し、その結果を評価できる。

到達目標：

- 1) 各種ホルモン濃度の測定に関する注意点を理解し、検体を適切に扱うことができる。
- 2) 生体のホルモン制御機構を利用した機能試験の原理を理解して実施し、その結果を評価できる。

(9) 皮膚疾患

一般目標：

皮膚疾患動物の診断に必要な問診法、観察、記録法、皮膚検査法を実施できる。

到達目標：

- 1) 皮膚疾患の問診ができる。
- 2) 発疹の分類とその意義を説明できる。
- 3) 皮膚疾患動物の観察と記録法を実施できる。
- 4) 各種皮膚検査法の原理と適応を理解し、実施できる。

(10) 神経疾患

一般目標：

神経疾患の診断と病変部位を同定するために行われる神経学的検査の理論と方法を理解し、系統的に実施して評価できる。

到達目標：

- 1) 動物の行動を観察し、神経疾患の存在を推察できる。
- 2) 姿勢反応、脊髄反射を評価するための検査法の原理を説明でき、これらを実施して評価できる。
- 3) 脳神経を評価するための検査法の原理を説明でき、これらを実施して評価できる。
- 4) 脳病変に特徴的な臨床徴候を説明でき、病変部位を推察できる。
- 5) 脊髄神経の支配領域を説明でき、病変部位を推察できる。
- 6) 脳脊髄液の採取法を説明でき、その性状を評価できる。
- 7) 神経疾患に対する画像診断の適応について説明できる。
- 8) 各種電気生理学的検査法に関する概要と適応を説明できる。

(11) 細胞診

一般目標：

細胞診と貯留液検査の有用性および適用範囲を理解し、実施できる。

到達目標：

- 1) サンプルを採取し、標本を作製できる。
- 2) 炎症性病変、腫瘍性病変、混合病変の特徴を理解する。
- 3) 貯留液の検査を実施できる。
- 4) 肥満細胞腫、リンパ腫、組織球腫などの細胞形態の特徴を理解する。